



岡田市長 市政運営方針【概要】

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、今なお、世界中の人々が困難を強いられ、感染力の強いウイルスにより、これまで以上に感染者が急激に増加するなど、市民生活において、安心できない状況が続いております。

令和3年度では、ワクチン接種をはじめとした、新型コロナウイルス感染症対策を最優先に取り組んでまいりました。

一方、本市を取り巻く社会経済状況は、依然として、人口減少と少子化、高齢化の進行により、行政サービスのあり方自体を大きく変えていく必要があり、世界的な動きである「誰一人取り残さない」という理念を掲げたSDGsの推進やICTを活用したスマートシティの取り組み、また、本市の魅力を市内外に発信するシティセールスにつきましても進めていかなければなりません。

本市では、厳しい財政状況が続く中、予算編成におきまして、既存事業の見直しを含めたより厳しいシーリング(予算要求時の上限額の設定)を実施し、当初予算で生じている財源不足を着実に縮減しながら、市民サービスの向上、未来への投資につながる予算として編成いたしました。

このような状況ではございますが、令和4年度は、私の1期目の集大成の年度として、新型コロナウイルス感染症対策とともに、マニフェストロードマップでお示した目標の達成に向けた重要な1年と考えております。

我々の進むべき道には、幾多の困難が待ち受けているかも知れませんが、その先には、明るい未来があることを信じ、職員に対しては、何事にも、失敗を恐れず、チャレンジできるように鼓舞していくとともに、私自身がリーダーとして、士魂商才の精神で、その先頭に立ち、持続可能な藤井寺市の実現に向け、邁進してまいります。

また、市民の皆様と「共」に、藤井寺市の新しい未来を「創」っていただけるよう、「共創」の気持ちで、全力で取り組みます。そして、私の政策の柱の中でも、特に、子育てをするなら藤井寺の実現を目指し、「藤井寺市に住んで良かった」と言っただけのまちづくりを進めます。

藤井寺市の 未来のために

令和4年度 市政運営方針



▶市政運営方針(全文)は、こちら

問合せ 政策推進課(6階⑥番窓口)
☎939・1171



藤井寺市は、国連が定めた「持続可能な開発目標(SDGs)」17の目標の達成に向け取り組んでいます。

観光資源を活かしたまちのにぎわいを創出

継続 アイセル シュラ ホール活用事業 **330万円**

現在の生涯学習機能に、観光拠点施設としての役割を追加し、まちの活性化につなげるため、専門家の意見も交えた基本構想の取りまとめを行います。(担当：観光課)

新規 まつりイベント事業 **300万円**

子どもから大人まで市民の皆さんが集い楽しめるよう、実行委員会・行政・企業が一体となった新たなまつりイベントを開催します。(担当：協働人権課)

新規 石川河川敷活用事業 **346万円**

アウトドアの場の提供や道明寺駅周辺のにぎわい創出のため、石川河川公園を活用し、何も持たずに気軽に利用できるバーベキューエリアを設置します。(担当：観光課)

危機管理体制をしっかりと構築

新規 道路等拡幅整備事業 **171万円**

緊急車両用の空間を確保するため、幅員4m未満の道路などの拡幅整備にかかる費用を助成します。(担当：まち保全課)

新規 市道国府18号線道路改修事業 **4,147万円**

歩道の段差解消のため、市道国府18号線の改良工事を実施します。(担当：まち建設課)

新規 業務継続計画及び受援計画策定事業 **627万円**

大規模災害などの発生時に、必要な行政機能を継続するための「業務継続計画」や、外部からの人的・物的支援を受けるための手順や体制などを定めた「受援計画」の策定を、令和5年度完成に向けて行います。(担当：危機管理室)

子育てをするなら藤井寺と言われるまちを実現

新規 「新生児サポート給付金」支給事業 **4,037万円**

コロナ禍での子育てを支援するため、令和4年4月1日～令和5年4月1日に生まれる新生児を対象に、1人10万円を給付します。(担当：子育て支援課)

拡充 産後ケア事業 **276万円**

育児への自信・安心を感じていただくため、体調や育児に不安がある産婦に対して、宿泊・日帰り・自宅訪問による心身のケアや育児サポートなどを行っています。このうち宿泊型の1回あたりの利用上限日数を拡大します。(担当：健康課)

拡充 ひとり親家庭等学習支援事業 **503万円**

ひとり親家庭等の子どもたちの学習習慣の定着・学習意欲の向上のためのサポートなどの取り組みを行っており、その利用定員を拡大します。(担当：子育て支援課)

新規 市立第6保育所トイレ改修事業 **3,580万円**

保育環境の整備のため、床材をシート張りにすることで、掃除がしやすく、衛生的なトイレへの改修(乾式化)を行います。(担当：こども施設課)

健康で生き生きと暮らせるまちづくりを推進

新規 新生児聴覚検査事業 **157万円**

難聴を生後すぐに発見し、赤ちゃんの成長発達を促すため、新生児に対する聴覚検査の費用を助成します。(担当：健康課)

新型コロナ対策・令和4年度重点施策

市政を運営するにあたり、新型コロナウイルス感染症対策及び特に重点的に進める5つの施策に沿い、令和4年度に取り組む主な施策について紹介します。

風通しの良い市政を市民目線で実行

継続 タウンミーティング事業 **75万円**

市民の皆さんの声を市政に反映するため、全ての地区に市長がお伺いするなど、市政報告や直接意見交換を行います。(担当：協働人権課)

拡充 オンライン申請事業 **208万円**

利便性向上のため、様々な行政手続きや来庁予約をスマホやパソコンで行える「藤井寺市オンライン窓口」の充実・拡大を進めます。証明書取得時の手数料などのオンライン決済を実施します。(担当：情報政策課)

新規 おくやみ手続きサポートデスクの新設 **3万円**

身近な方を亡くされた後に、ご遺族が行う市役所での手続きは多岐に渡ります。ご遺族の負担を減らすため、亡くなった方の状況を確認し、手続きが必要な窓口を案内するデスクを新設します。(担当：市民課)

新規 SDGs推進事業 **612万円**

SDGsを意識した事業や、ESG(環境・社会・ガバナンス)に配慮した活動を行う企業や団体の認定制度を設け、市をあげてPRします。また、市立全小・中学校の照明をLED照明へ更新するなど、環境に配慮した取り組みを行います。(担当：政策推進課、教育総務課)

新型コロナウイルス感染症対策

継続 「藤井寺市PCR検査センター」の延長 **1,110万円**

安全で安心して生活ができるよう、また市内事業者が経済活動を継続できるように、「藤井寺市PCR検査センター」の開設期間を延長します。(担当：危機管理室)

継続 新型コロナウイルスワクチン接種事業 **2億509万円**

3回目接種の実施に加え、5歳から11歳までの接種についても、正確な情報提供を行いながら、順次接種を行っています。(担当：健康課)

拡充 事業者支援事業 **4,400万円**

コロナ禍でも積極的に事業活動に取り組めるよう支援を行います。新たにBCP(感染症や自然災害が発生しても企業活動を継続していくための計画)策定や生産性アップのための設備導入などに対して支援を行います。(担当：商工労働課)

凡例

継続 令和3年度から継続して行う事業

拡充 令和3年度から規模を拡大して行う事業

新規 令和4年度に新しく行う事業



SDGsの該当目標



歳出を、経済的な性質に着目した「性質別」で見ると…

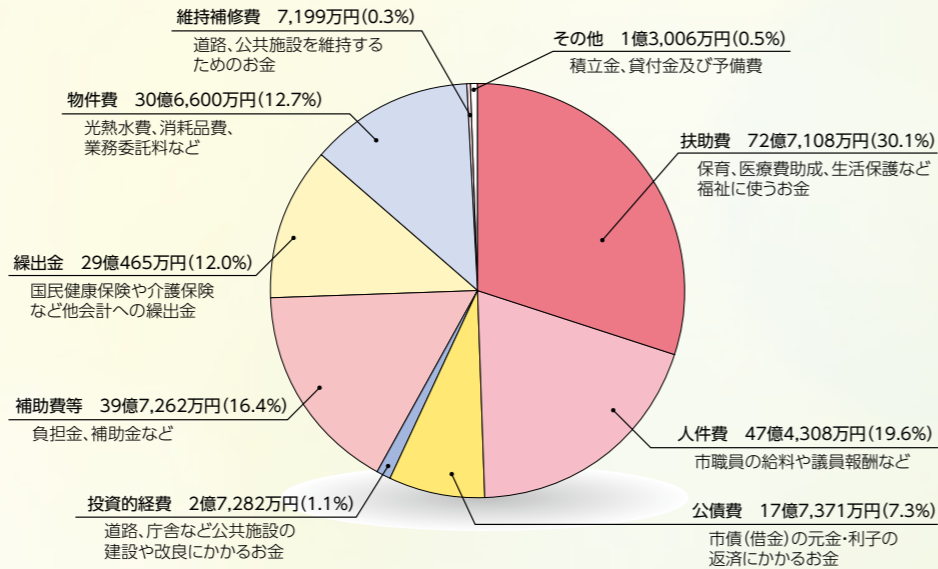
【歳出 242億600万円】

歳出

令和4年度の歳出総額は新型コロナウイルス感染症対策にかかる事業を計上していることなどにより、物件費や補助費等が増加したため、対前年度比1.9%増の242億600万円となっています。

また、公共施設などの建設や改良に関する費用である投資的経費は、保育所や義務教育施設のトイレ改修などを予定しているため、対前年度比121.5%増の2億7,282万円を計上しています。

市の借金を返済するための公債費は、史跡古市古墳群土地買い上げ事業などを実施したときに借り入れた元金の返済が発生することから、対前年度比1.7%増の17億7,371万円を計上しています。



歳出を、行政目的に着目した「目的別」で見ると…

▼歳出の目的別構成比

民生費 99億2,865万円 (41.0%) 生活保護、子育て支援、高齢者、障害者福祉など	総務費 68億5,599万円 (28.3%) 市役所運営、防犯や災害対策、租税に関するものなど	衛生費 19億6,095万円 (8.1%) 健康推進や病気の予防、ごみ処理など	公債費 17億7,371万円 (7.3%) 市債(借金)の元金・利子の返済にかかるお金	教育費 17億709万円 (7.1%) 幼稚園・小中学校教育、生涯学習、スポーツ振興など
消防費 8億4,656万円 (3.5%) 消防組合や消防団の活動など	土木費 5億4,842万円 (2.3%) 道路や公園の整備、交通安全対策など	農林水産業費 商工費 2億5,160万円 (1.0%) 農業や商工業の振興など	議会費 2億359万円 (0.8%) 市議会の運営	諸支出金 予備費 1億2,946万円 (0.6%) 預金利子などの積立など

※金額は端数処理しているため、合計は一致しません。

※予算書などの資料は、市役所1階情報交流ひろば「ふらっと」、市ホームページで閲覧できます。



令和4年度 当初予算

予算とは1年間の収入と支出の見積もりです。使い道や収入源の違いから、一般会計・特別会計・企業会計の3種類で構成されています。

なお、この予算は3月定例会市議会で議決された後に成立するものです。

問合せ 行財政管理課 財政担当 (5階⑤番窓口) ☎939・1014

予算総額 471億7,750万円 (前年度比 +0.3%)

一般会計
242億600万円
 (前年度比 +1.9%)

福祉・医療・教育・道路など、市が行う基本的な事業に関する会計です。

6・7ページの2つの円グラフは、福祉、教育、防災、施設の建設・維持管理などを行う一般会計の予算内容について、歳入(収入)・歳出(支出)それぞれの内訳を示しています。

特別会計
152億3,100万円
 (前年度比 -2.4%)

特定の事業を特定の収入によって行うため、一般会計から独立させた会計です。

国民健康保険	75億8,675万円
後期高齢者医療	11億 657万円
介護保険	65億3,767万円

※駐車場特別会計は、令和3年度末で廃止

企業会計
77億4,050万円
 (前年度比 +0.9%)

民間企業と同じように、事業で収益をあげて運営している会計です。 ※企業会計の予算は支出額を記載

病院事業	29億 63万円
公共下水道事業	48億3,987万円

一般会計 当初予算の概要

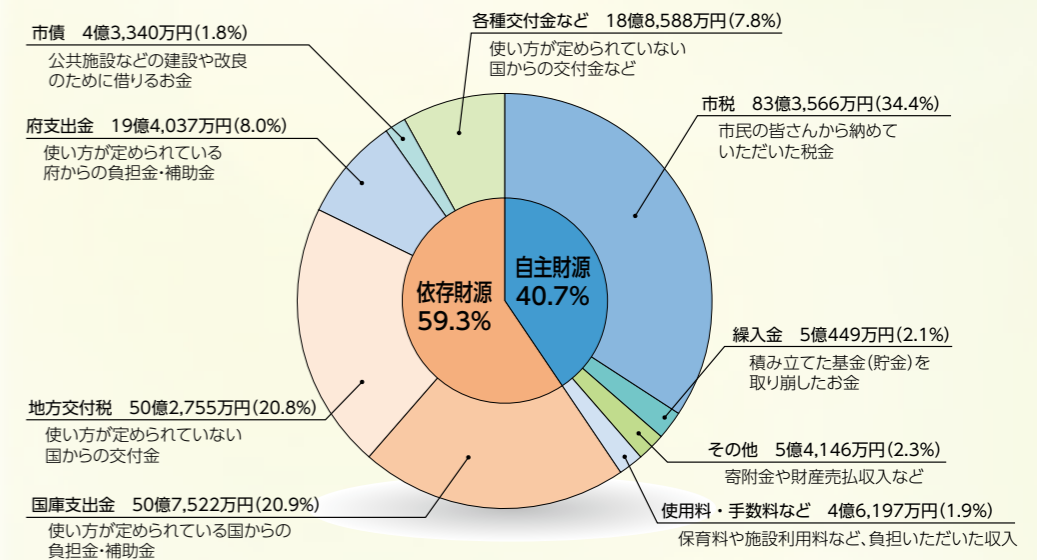
歳入

歳入の柱となる市税は、新型コロナウイルス感染症の影響で大きな減収が見込まれた令和3年度から持ち直す見通しで、対前年度比4.8%増の83億3,566万円を計上しています。

借金である市債は、臨時財政対策債(※1)が大幅に減少したことなどにより、対前年度比67.6%減の4億3,340万円を借り入れる予定です。

歳入のうち、市税などの自主財源(※2)は全体の40.7%、地方交付税などの依存財源(※3)は59.3%を占めており、地方交付税などに依存した財政構造となっています。

【歳入 242億600万円】



(※1)国が地方交付税を全額準備できない場合に、足りない分を地方自治体に借金させる形で一旦補い、後から地方交付税として交付するもの
 (※2)自主的に調達できる財源 (※3)国または府から交付される収入